

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和8年度学校評価計画

達成度(評価)	
A	: 十分達成できている
B	: おおむね達成できている
C	: やや不十分である
D	: 不十分である

学校名	小城市立牛津小学校
-----	-----------

1 前年度 評価結果の概要	<p>・各主任・担当を中心に教育課程を着実に実施し、授業改善に継続して取り組んだことで、日常の指導の安定と質の向上が図られた。研究や学力向上策も計画的に進み、組織的実践が定着できた。今後は児童の変容やデータを活用し、成果を明確に示しながら改善サイクルを一層充実させていく必要がある。</p> <p>・生徒指導主任や教育相談担当を核に、早期発見・早期対応の体制が整い、組織的な情報共有が進んだ。特別支援教育との連携も強化され、個に応じた支援の基盤が充実してきている。今後は学年・分掌を越えた連携をさらに深め、全職員で子どもを支える体制の強化を図ることが重要である。</p> <p>・校務分掌ごとの役割が明確で、計画的に取組を実行することができた。管理職のもとで組織的な運営がなされ、学校全体として安定した教育活動が展開された点は大きな成果である。次年度は分掌間の成果と課題を整理し、重点化・精選を図りながら、より効率的で質の高い運営を目指す。</p> <p>・本年度は安定した学校運営が確立された一年であった。次年度は、取組の成果を可視化し、組織的対応力をさらに高めていく必要がある。また、本校の強みや特色を明確にし、保護者や地域に積極的に発信することで、学校の信頼と連携を一層深めていくことが重要である。</p>
------------------	--

2 学校教育目標	自ら学び 心豊かに 笑顔輝く 津保美っ子の育成 ～つなぐ～
----------	-------------------------------

3 本年度の重点目標	<p>1 家庭や地域とのつながりを大切にしながら、「出番・役割・承認」を意識した支援を通して、豊かな心を育む。</p> <p>2 校内研究を充実させ、児童がより楽しくわかる授業づくりに取り組む。</p> <p>3 地域とともに歩み、地域に貢献できる学校づくりを推進する。</p> <p>4 特別支援教育・UD(ユニバーサルデザイン)を基盤とした教育を充実させる。</p> <p>5 安心・安全な教育環境づくりを推進する。</p>
------------	--

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価
---------------	------	--------

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
重点取組			具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
評価項目	取組内容	成果指標(数値目標)								
●学力の向上	○学力向上に向けた取り組み ○読書の推奨 ○校内研究を充実させ、教職員の指導力(ICT活用も含め)を磨き、高める。	○学習状況調査ですべての領域で「おおむね達成」する。 ○家庭学習頑張り週間で、目標時間を達成した児童が80%以上。 ○貸出冊数目標(低100冊、中70冊、高50冊)を達成した児童80%以上。 ○「授業でICTを活用している」と回答した教職員が90%以上	・校内研究で、教師が学び続けるために、3つの部会を立ち上げ、ICTの活用、観察力と言葉かけ、対話・話し合いの設定の強化を図る。 ・落ち着いた授業環境・学習規律の場作りを推進する。(学習道具をシンプルにすることを推奨・朗読書・学習流れの統一・話し合い活動の推奨「つなぐカード」の活用) ・家庭学習ががんばり習慣・自学の取り組みの推奨(優れた自学の掲示・表彰) ・図書館祭りを年2回実施したり、つぼみ文庫の啓蒙活動に力を入れたりしながら、図書館へ通う児童を増やす。 ・より学びを深める効果的なICT活用を推進する。							教務主任 学力向上コーディネーター 研究主任 情報教育推進リーダー 図書館教育担当
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○「自分にはよいところがある」と回答した児童80%以上	・学校全体で、計画的・継続的に児童の心に届く人権教育(人権教室6回、人権講演会1回)や道徳に取り組む。							道徳教育推進担当 人権・同和教育担当 各学年主任
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○学校生活を肯定的にとらえている児童80%以上 ○いじめを初段階のものも含めて積極的に認知し、その解消に向けた取り組みを早期にスタートする。	・児童連絡協議会を月に1度行い、いじめにつながる情報を収集・整理・記録して全職員で共有する。 ・「いじめ・心を考える日(毎月10日)」と連携させた「月の心」アンケートを実施し、いじめの早期発見につなげる。							生徒指導主任 教育相談主任 各学年主任
●健康・体づくり	●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童80%以上 ●「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童80%以上	・「出番・役割・承認」のサイクルを大切に、児童のやりがいや自己肯定感を高めながら、心を育んでいく。 ・児童の自主性や意欲を尊重した学校行事、児童会活動、縦割り班活動、学級活動を充実をはかる。感想交流による児童同士の認め合いを充実させる意識を高める。							特別活動部 部長 各学年主任
	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	・「健康に良い食事をしている」児童80%以上	・「給食週間」「ふるさと食の日」の実施を通して、児童や保護者へ食の大切さを周知する。 ・各学年において、理科や家庭科などの他教科と食育を関連付けた指導を取り入れることにより、児童の実態に沿った指導を積み重ねていく。							保健主事 保健体育部 部長 栄養教諭 食育担当 養護教諭
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ●年間20日の年次休暇のうち、職員1人当たりの年次休暇の取得日数14日以上	・業務分担任や内容を見直し、超過勤務時間を、昨年度より削減する。毎週金曜日は定時退勤日とする。 ・職員会議を2ヶ月に1回実施するなど、会議の効率化を図り、年次休暇を取りやすくする。							校長 教頭
●特別支援教育の充実	○特別支援教育についての理解を深める。	○特別支援教育についての理解が深まったと回答した職員が80%以上。	・特別支援教育の研修の機会を設ける。 ・全職員で定期的に配慮を要する児童についての理解を深めるための会議を行う。 ・特別支援グループで研修に取り組み、新任担任をサポートしながら、個々の支援学級担任の力量の向上に努める。							特別支援教育コーディネーター
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
重点取組			具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
評価項目	重点取組内容	成果指標(数値目標)								
○志を高める教育	○◎ふるさとを愛する教育	○牛津町が好きと回答した児童が90%以上 ○体験活動・見る・ふれあうなどの学習がすすくと回答した児童が90%以上	・地域人材を活用した学習活動を充実させる。 ・地域に学ぶ学習の充実 ・児童によるボランティア活動、社会支援活動等、社会へ貢献できる取組を企画する。							教頭、教務 総合的な学習の時間担当 ボランティア委員会担当

●...県共通 ○...学校独自 ◎...志と誇りを高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	<p>・</p> <p>・</p> <p>・</p>
--------------------	----------------------------